

ダイテック情報紙

Yes! We Will.

第3号



IAI パリ国際会議が行われた会場直近の「凱旋門」

紙面 Contents

- | | |
|-----|---|
| 1 面 | セコム株式会社 足達嘉信氏 寄稿
「IAI パリ国際会議から」 |
| 2 面 | 当社 CAD ユーザー様の声
「Why CADWe'll Tf@S ?」 |
| 3 面 | 2009 電設工業展
「3D 対応の CADWe'll Tfas E」 |
| 4 面 | ひと息スペース Daitec Diary
「音楽浸けな私」 |

セコム株式会社 IS 研究所 足達氏寄稿

IAI パリ国際会議から

フォーラムでは北欧の先進的事例も

近年、BIM^{※1} と呼ばれる 3 次元建物情報モデルを中核とした建築設計、施工、維持管理手法の実践が国内外で注目されてきていますが、1996 年より BIM のデータモデル標準 IFC^{※2} の策定・普及に対し取り組んできたのが国際組織 IAI^{※3}、現在の buildingSMART です。

buildingSMART は、IAI 日本を含め 13 支部の各メンバーが集まる年 3 回ほどの国際技術統合委員会（以下 ITM^{※4}）、年 1 回の国際幹事会（以下 IC^{※5}）を各支部持ち回りで開催しており、2009 年 5 月中旬に ITM 会議、IC 会議および BIM フォーラムがフランスのパリで開催されました。

ITM 会議は、パリ凱旋門近くの Ordre des Géomètres Experts（測量士協会）会議ホールで行われました。主な議題は、現在進行中の IFC の ISO 化進捗管理、ソフトウェアへの IFC 実装や認証の状況把握やデータ連携の品質向上のための検討、Aquarium と呼ばれる（皆が透明な水槽の中を見られるような）ユー

ザ主体の実証プロジェクトの全支部への展開等でした。ITM が 2 日続き、その翌日 BIM フォーラムが Fédération Française du Bâtiment（フランス建築業協会）において行われ、アメリカの大手設計事務所である HOK、フィンランド、ノルウェー等の先進 BIM 事例、フランスでの建築設計事務所、地方自治体（ブルゴーニュ）、環境設計分野での取り組みが紹介されました。IC は、パリのラデファンクス地区にある Saint-Gobain（サンゴバン）本社ビルで行われ、IFC の ISO 化、ソフトウェア認証、Aquarium 活動等にかかる経費を各支部からいかに多く集めるが最近の中心議題となっています。日本支部もより多くの貢献を求められている状況です。

日本で推進の BIM 国際舞台で注目

今回のパリの会議場提供者の方からの話ですが、どのような観点から BIM・IFC に期待を寄せているかを簡単に紹介します。フランス測量士協会は、敷地や道路のデジタル情報と BIM のデータ連携に興味があるということです。これは日本の国交省が CALS/EC アクションプログラム 2008 で進めようとしている 3 次元モデルを活用するマシン

コントロールやモデル設計・施工の実施の動きと近いものです。また、サンゴバン社は素材・ハイテク産業の世界的企業で、建築・自動車用のガラス製品、建材メーカーとして知られており、IFC によるオープンな BIM の普及によりビジネスチャンスが広がるものと考えているようです。北欧、ドイツ、シンガポール、アメリカ、オーストラリア等における公共工事分野の BIM 活用がこれまで注目されてきましたが、フランスにおいても様々な建築業関係者が buildingSMART (IAI) の活動に参加してきていることがわかりました。

- ※1 Building Information Modeling
- ※2 Industry Foundation Classes
- ※3 International Alliance for Interoperability
- ※4 International Technical Management
- ※5 International Council



セコム株式会社 IS 研究所
ビルディングテクノロジーグループ
IAI 日本 技術検討分科会リーダー
足達 嘉信 氏

ユーザーからの意見も随時フィードバック

設計図・プレゼンにも威力大 3D視覚化 直感理解を顧客へ

CADWe'll Tf@S User



高砂熱学工業株式会社

Why "CADWe'll Tf@S"?

高砂熱学工業株式会社様には、CADWe'll シリーズを 10 年以上に渡りご利用頂いております。そこで今回、同社で技術設計を担当されている佐藤幹哉氏にお伺いしました。

CAPEからTf@Sへ

私は現在、高砂熱学工業株式会社札幌支店技術部設計課長として、毎日のように CAD 図面に接し、また社内の CAD 担当者として CAD とは深いかわりを持っている。今回、CADWe'll Tf@S についての所感を簡単に述べたいと思う。

CADWe'll CAPE から Tf@S へと 10 年以上にわたる長い付き合いである。初めて CADWe'll CAPE を使用したとき、イメージをそのまま図面化できることに驚いたものである。「清書マシン」から「技術者の片腕」へと、CAD が置かれている立場も、社内における認識も大きく変わった。シミュレートしながら最善を模索するという、以前であれば気が遠くなるような作業が可能になったのである。

平面と高さの関係が明瞭 直感的に理解できる

設計という立場から見ると、CADWe'll Tf@S は施工図を作成するためだけではなく、設計図・プレゼンテーション作成にも大きな威力を発揮する。その点においても CADWe'll Tf@S の登場は

客先との合意形成に多大な貢献をもたらすものと直感した。CADWe'll Tf@S の紹介時に画面に現われた 3D は、設備と設備、設備と建築の納まりが一目瞭然で、目を奪われるものだった。平面と高さの関係が一見して明瞭になることは、客先はもとより、我々の認識も明確にする。実際、3D を使用したプレゼンテーションで、客先に納得いただいた物件もいくつかある。

現場では、施工図を 3D にすることにより、担当者自身の図面確認が容易に行えることや、職人さんへの説明が明確に行えるようになった。今や、大きな戦力になっている。

不満を喜びへフィードバック 充実のサポート対応

品質向上のため、この 3D CAD をいかに有効に使用していくかが、私たち自身の今後の課題と考えている。

しかし、いかに優れた CAD でも「こうして欲しい」「これは使えない」等の要望・意見を耳にするのも事実である。3D という機能をラインナップさせたことで、さらに高度な要望も増えている。また、CADWe'll CAPE と Tf@S の互換性に対する不満も聞かれる。

このような意見・要望に対し、CAD 担当者として、機会を設けダイテックに伝えているが、その都度詳細な回答がある。対応できる、できないという以前に、ユーザーの意見をまず聞くということが、これまでの CAD の進化につながっているのは紛れもないことである。

これからも、CAD メーカーとユーザーという立場で、お互い率直な意見を交わし合い、さらに有効なツールを育てていくことができると願っている。

» User of this PRODUCTS



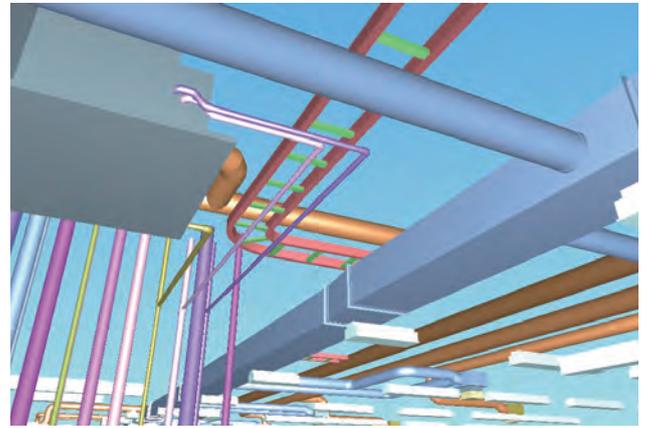
高砂熱学工業株式会社 札幌支店
技術部設計課 課長

佐藤 幹哉 氏

新製品「CADWe'II Tfas E」を参考出品

2009 電設工業展 in 東京ビッグサイト

5月27～29日の3日間、東京ビッグサイトで開催された『2009 電設工業展』（社）日本電設工業協会主催に、当社は現在開発中の電気設備 CAD「CADWe'II Tfas E」を参考出品致しました。CADWe'II Tfas Eは、これまで通りの軽快な操作で作図したケーブルラックや電気ダクトを 3D 表示することができます。さらに CADWe'II Tfas E で作図した電気図面は、そのまま統合設備 CAD「CADWe'II Tf@S」で空調・衛生図面と重ね合わせて、3D 総合調整図として設備間の取り合い・納まり確認を簡単・確実に行なうことができるようになります。これにより、現場でのスムーズな指示・打合せなど、日々の業務に威力を発揮します。



ダイテックブースにお立ち寄り頂いたお客様よりたくさんのご意見を頂いておりますので、その中からいくつかご紹介致します。

- ◆ CADWe'II CAPE ユーザー様 : CADWe'II Tfas E の 3D 機能は現場での総合図の取り合いに非常に便利。
- ◆ 他社設備専用 CAD ユーザー様 : CADWe'II Tfas E は大変使いやすい、是非本社へ PR して欲しい。
- ◆ 汎用 CAD ユーザー様 : 汎用 CAD425 台使用中。CADWe'II Tfas E の 3D、拾い機能には驚いた。汎用 CAD とは作図効率が根本的に異なることが分かった。

昨年の大阪、一昨年の東京ではダイテックブースに立ち寄られる方も少なく、私達の力不足を反省させられました。しかしながらお客様のお役に立つために何が出来るのかを考え直した今年は、昨年の 3 倍ものお客様にご来場頂くことができました。CADWe'II Tfas E を始めとする当社の CAD システムに対するお客様の期待を裏切ることが無いよう身の引き締まる思いしております。ご好評頂いた CADWe'II Tfas E は 10 月の発売に向け、鋭意開発中です。ご期待ください。

Drawing the Future

2009 年 10 月リリース予定

CADWe'II Tfas E

Next Solution

作図業務の効率化とコスト削減

2D Fast drawing

- AutoCAD との高い親和性
- 正確な電気器具配置により、すばやくプロット図を作成
- 複雑な配線もサクサク作図・らくらく編集
- 図面から各種表もカンタン作成

高精度・立体シミュレーション

3D Quick viewing

- 器具・バスダクト・ケーブルラックをワンタッチで 3D 表示
- CADWe'II Tf@S データを取り込み、総合図を 3次元で確認
電気室や他設備との収まりが一目瞭然
- 干渉箇所のリストアップと CGI による収まり検討により
高精度な図面作成が可能

交響楽団員の当社社員が贈る…

Comfortable place

Daitec Diary

「ダイテック…内部にはどんな人達がいる？」
ヴェールとオブラートに包まれた企業秘密な社員達。
本企画では社員達の課外活動をこっそり覗き見ます。
今回のDiaryは「音楽漬けな私」です☆

埼玉県春日部市で活動している春日部交響楽団は、年1回の定期演奏会の開催を活動の軸として、月2回の練習があります。正団員は25名で、本業は会社員・主婦・学生・医者・自営業など様々。地域密着型の演奏会をモットーとしており、市内合唱団の演奏会への賛助出演などです。6月の定期演奏会では市内在住の佐藤久成氏（ヴァイオリン奏者）をお招きしてメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を演奏したりと、多様な活動を行っています。

創立1986年の歴史ある楽団で、団員の大半が40歳代以上と年齢層が高く、とてものんびりと和やかな雰囲気練習しています。私は一昨年の8月より入団し、フルートを演奏しています。中学・高校の部活や大学のサークルでずっと楽器を続けてきましたが、今までは主に同世代と活動をしていたので、親子ほどに年齢が離れた人と一緒になって趣味に打ち込めるのはなんだか新鮮です。私もおばあちゃんになるまで末永くフルートを続けていけたらいいなと思っています。



ウエカレンジャー CONCERT TOUR '09 the symphonia



春日部交響楽団ホームページ
<http://heartland.geocities.jp/kse001986/>
お問合せ先 kse001986@yahoo.co.jp



「WebCADD.com」の管理人ブログ

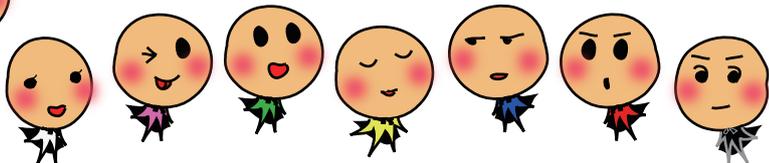


ウエカレンジャーです。僕達が大活躍している

「WebCADD.com」の管理人ブログを紹介させていただきます。

このブログは、CADの操作方法やグルメ情報、新人の成長日記までアップしています。もしお時間がございましたら遊びに来てください。お待ちしております。

アクセスはこちらから→ <http://webcadd.seesaa.net/>



編集後記

今年の10月にはWindows7なるものが発売されるようですが、皆様ご存知でしょうか？

四苦八苦しながらWindows Vistaの複雑なアクセス制御を解析し、眠れない日々を過ごしながらやっと対応したのがつい最近だったような気がします。

「あの悪夢が再び？」っと陰鬱な気分先日Windows7セミナーに参加してきたところ、予想が大きく外れていたことを知らされました。

セミナーの帰り道では、「おーシャンゼリゼ〜♪」が頭の中をリフレインし、足取りは軽くほとんどスキップしているようでした。

Windows7対応は悪夢にうなされずにすみそうです。

ダイテック情報紙 Yes! We Will.

[編集・発行] 株式会社 ダイテック

[発行日] 2009年7月3日

製品のお問い合わせ・ご用命は



株式会社 **ダイテック**

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-16-19 URL: <http://www.daitec.co.jp/> E-Mail: cad-setsubiadaitec.co.jp

北海道 011-222-9631
北陸 076-226-0470

東北 022-225-0141
中国 082-244-8501

東京 03-5762-3511
四国 087-826-3691

中部 052-971-6624
九州 092-451-3320

関西 06-6965-4535

※ CADWe'll はダイテックの登録商標です。

※ 記載されているすべての社名・製品名等はそれぞれの会社の商標または登録商標です。